2021年10月



\*\*\*本プレスリリースの情報公開は即時解禁となります。\*\*\*

プレスリリース

**ピュアなサウンドとフィンランドのデザインが融合した**

**新製品「6040R」Smart Active Speaker**

**新しいSignatureシリーズとして再構築された**

**Genelecラウドスピーカーの象徴的モデル**

**2021年10月 フィンランド、イーサルミ.....**アクティブ・スピーカーのデザインにおけるリーディング・カンパニーであるGenelecは、新たなシリーズとなるSignature（シグネチャー）シリーズ第一弾として、2ウェイ・アクティブスピーカー「[6040R](http://www.genelec.com/6040R)」 を発表いたしました。6040Rは、フィンランドを代表する世界的インダストリアル・デザイナーである[ハッリ・コスキネン](http://www.harrikoskinen.com/)と共同開発となるフロア・スタンド仕様スピーカーで、フィンランドの技術とデザインの見事な融合を果たし、クオリティを求めるオーディオ愛好家の皆様へ優れた性能と様式美をお届けいたします。様々なリスニング環境において、6040Rは視覚的にも聴覚的にもシステムの中心となるラウドスピーカーです。

[Genelec](https://www.genelec.jp/)とコスキネンは、長年にわたって協力関係を築いて参りました。その序章として20年前に発表されたのが[6040A](https://www.genelec.com/previous-models/6040a)。この度発売した6040Rの前進にあたる6040Aは、コスキネン独自の徹底して無駄を省いた優美な曲線を描くMinimum Diffraction Enclosure（MDE）によるキャビネットを初めて採用したラウドスピーカーです。

アルミ・ダイキャストを採用したMDEは、圧倒的にクリーンな音響性能と驚くほど広範囲にわたる周波数特性を実現し、同時に典型的な木製キャビネットを用いたデザインで生じる共振も抑制。今日のGenelecのスピーカーにおける基礎を確立しました。また、この6040AへのMDEの採用は、Genelecのよく知られた技術のひとつであるDirectivity Control Waveguide（DCW）の採用にも繋がり、軸上および軸外双方における色付けのない再生、そして比類のないイメージングと最小限の歪みを実現しました。

Genelecが40年にわたって独自に世界のオーディオ業界に貢献してきた製品やデザイン・コラボレーションの中でも、特に高くご評価いただいた製品を展開するのが、この新たなSignature シリーズです。この度、6040Aの発売から20周年を迎えたことを機に、6040Rとしてそのテクノロジーを再構築致しました。

Genelecはフィンランド、イーサルミにて厳格な環境基準の元、設計および製造を行っています。新たに設計された6040Rには、現在のGenelecの標準となったLFドライバー・デザインと、特許技術であるバイアンプ仕様のクラスDパワーアンプ・テクノロジーを採用しています。6040Rでは、新たにアナログおよびデジタル（AES/EBU、S/PDIFフォーマット）入力、デジタル出力、ユニバーサル電源、そして内蔵DSPを搭載し、ルーム・キャリブレーション・ソフトウェア「[GLM](https://www.genelec.jp/glm/)」でご使用の環境へインテリジェントに最適化させることを可能としました。

6040Rラウドスピーカーを設置し、GLMソフトウェアと内蔵DSPによる信号処理を密接に統合させることで、例え本来リスニングを意図していないような良好な環境とは言えない空間でも、お客様はピュアで自然な音楽再生を楽しむことができます。6040Rは、GLM4.1の新機能となるルーム・キャリブレーション・アルゴリズム「AutoCal 2」によって、システム内にあるそれぞれのスピーカーの情報を利用して、お部屋に合わせて正確にスピーカーのパフォーマンスを最適化させることができます。

加えて6040Rは、この度の再構築により出力の強化、より高いSPL、広い位相直線性、より低い消費電力を実現した上で、信頼度の高いサービスを提供いたします。加えてサブウーファーのFシリーズの追加、あるいはGLMネットワーク・アダプターを接続することで、Genelecの有線ボリューム・コントローラー「[9310B](https://www.genelec.jp/studio-monitors/outboard-products/9310b-volume-controller/)」もしくはワイヤヤレス・ボリューム・コントローラー「[9101A-B](https://www.genelec.jp/options/9101B-wireless-volume-controller/)」を利用し、Genelecの[Fシリーズ](https://www.genelec.jp/home-speakers/f-series-active-subwoofers/)と[SAMサブウーファー](https://www.genelec.jp/studio-monitors/sam-studio-subwoofers/)の一部のモデルとシームレスに連携致します。

ユニットには、165mm（6.5インチ）ウーファーと19mm（3/4インチ）ツイーターを装備し、それぞれに独立した150Wのパワーアンプでドライブ。スピーカーそのものの高さは999mm（39 1/3インチ）とし、43Hz〜20kHzの周波数特性と110dBの瞬間最大SPL誇ります。また、1台もしくは2台のサブウーファーを追加することにで、さらなるSPLや周波数特性の充実を図るシステムを組むことができます。

アクティブ・クロスオーバーと洗練された保護回路を備える6040Rは、美しくかつシンプルな設置が可能です。高品質なオーディオソースを再生するだけで、ディテイルまで絶妙に再現致します。この非常に正確なサウンドは、音楽や映像、そしてTV業界に従事するオーディオのプロフェショナルの間でGenelecが選ばれる理由にもなっています。6040Rに用意されるカラーは、グレー、ブラック、ホワイト、ブラック×ホワイト・グリル、そしてホワイト×ブラック・グリルの全6ラインアップ。豊富なカラーによって、視覚的な魅力もさらに高めています。

「生まれ変わった6040に関わることができて、私はとても感激しています」とハッリ・コスキネンは語ります。「1999年に初めてGenelecの創始者であるイルポ・マルティカイネンさんにお会いした際、彼はGenelecを美的に際立たせるユニークな外観を創り出したい、という明確なビジョンを持っていました。技術面でもビジュアル面でも、本当の意味で時代の先駆けとなるラウドスピーカーとして、私たちは6040Aをデザインしたのです。この20年の間にテクノロジーはさらに大きく進歩しました。今日のより洗練されたリスナーの皆様のために、私達は6040Rでその水準をさらに引き上げることができたと確信しています」

「6040Rは、そのパフォーマンスと美しさの融合に加えて、長期に渡るサステナブルな製造工程に基づいてデザインされています」とGenelecのマネージング・ディレクターであるシアマック・ナギアンは述べています。「リサイクル・アルミニウムを採用し、省電力でご利用いただける6040Rは、長いライフサイクルと確固たる信頼性を目指して、全て当社のフィンランド工場で再生可能エネルギーのみを利用して生産されております。6040Rは安定した長期的な投資というだけでなく、環境に配慮されたラウドスピーカーでもあるのです」

詳しい情報は[www.genelec.com/6040R](http://www.genelec.com/6040R) をご参照ください。

\*\*\*以上\*\*\*

**Genelecについて**

1978年の創立以来、Genelecはプロフェッショナル・オーディオ・モニタリングをビジネスの主軸としてきました。研究開発への飽くなき取り組みが革新的な技術を生み出し、Genelecはアクティブ・モニター業界を牽引する存在となりました。創立から40年経過した今でも、Genelecのモニター製品は当初の哲学を忠実に守り、サイズに関わらず信頼性の高いニュートラルなサウンド再生と、リスニング環境の音響条件へ適応する機能を提供します。Genelecユーザーは、音響的なアドバイスやキャリブレーション・サービス、テクニカル・サービス、そして長期の製品寿命など、最高のサポートを受けることができます。Genelec製品を購入することは、オーディオ・モニタリングに対する堅実な投資となるでしょう。

|  |
| --- |
| お問い合わせ先: 株式会社ジェネレックジャパン｜マーケティング  電話番号: +81(0)3 6441 0591 email: [press@genelec.jp](mailto:press@genelec.jp) |